

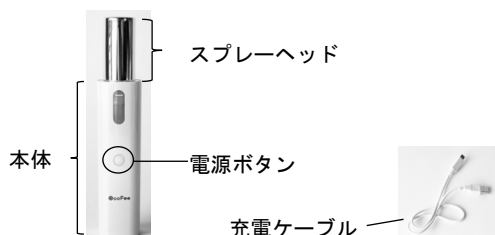
O o o F e e (オーフェ)

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構成

本品は、次のものから構成されている。

- (1) 本体
- (2) スプレーヘッド
- (3) 充電ケーブル



2. 作動・動作原理

ハンドポンプスプレーにより洗浄液としてのオゾン水を噴霧する。

3. 仕様

本体寸法（スプレーヘッド含む）：31（W）×31（D）×158（H）mm

本体重量：約 70g

4. 電氣的定格

本体内蔵リチウムイオンバッテリー

定格入力：DC5V±5% 1～1.5A

公称電圧：DC3.6V

放電容量：500mAh

5. 使用環境

温度：5℃～40℃

湿度：0～85% 相対湿度（結露なきこと）

気圧：850～1060hPa

【使用目的又は効果】

*身体の一部に適用するオゾン水を噴出する装置であり、衛生状態の維持又は治療の一環として用いる。手動式である。

【使用方法等】

- 1) 充電ケーブルを本体に接続し、所定の AC アダプター又はパソコン等の USB ポートを使用して充電する
- 2) スプレーヘッドを取り外して製造業者指定の純水を 15ml 注入し、スプレーヘッドをしっかりと締める。
- 3) オゾン水生成スイッチを約 1 秒間長押しして約 30 秒間待つ。
- 4) キャップを外し、ハンドポンプを押し下げてオゾン水を皮膚に直接噴霧する。
- 5) 生成から 10 分間以上経過したときは、噴霧前に 3) の手順を繰り返してから噴霧する。
- 6) 生成から 2 日間以上経過したときは、水を全てすててから製造業者指定の水ですすぎ、3) の手順を繰り返してから噴霧する。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 分解・修理・改造は絶対にしない。火災、感電、けがの原因となるおそれがある。
- 2) 異常・故障時にはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 3) 専用 USB ケーブル又は製造業者指定の USB ケーブル以外は使用しない。故障や火災の原因となるおそれがある。
- 4) 本体を水につけたり、水をかけない。感電や火災の原因となるおそれがある。

- 5) 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電のおそれがある。
- 6) 近くに火気を置かない。火災や感電の原因となるおそれがある。
- 7) 吸水口に針金などの異物を入れない。感電、けが、異常動作の原因となるおそれがある。
- 8) 本体が空の状態では運転しない。故障の原因になるおそれがある。
- 9) オゾン水生成中は必ずキャップをして、発生するガスを吸引しない。
- 10) 電源プラグのホコリは定期的に取り、電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。
- 11) お手入れ時は必ず電源を切り、AC アダプターを抜く。感電や火災の原因となるおそれがある。
- 12) 15A 以上のコンセントを単独で使用し、日本国内のみで使用する。
- 13) 長期間使用しないときは必ず AC アダプターを抜く。感電や火災の原因となるおそれがある。
- 14) 油煙や可燃性ガス、金属質の粉塵がある場所で使用しない。発火や発煙の原因となるおそれがある。
- 15) 浴室、海岸、水辺、屋外、過度に加湿した室内では使用しない。火災や感電の原因となるおそれがある。
- 16) 肌に傷や湿疹、はれものなどがあるときは使用しない。
- 17) 皮膚炎、過度の日焼け、ニキビが化膿し炎症を起こしているなど、皮膚に異常があるときは使用しない。
- 18) 次の方は医師に相談の上使用する。
・妊娠中、生理中、皮膚病、アレルギー性皮膚炎、急性疾患、悪性腫瘍、アレルギー体質、ぜんそく
- 19) 肌の異常を感じたらすぐに使用を中止し、医師に相談する。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

温度：5℃～40℃（直射日光を避ける）

湿度：0～85% 相対湿度（結露なきこと）

気圧：850～1060hPa

2. 耐用期間

2 年間（自己認証（製造業者データ）による）

添付文書及び取扱説明書等に記載された適切な使用および保守点検を行った場合に限る。また、耐用期間は、使用条件、使用環境により差異を生じる。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

〔本体外側・噴射口〕：

水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、やわらかい布で拭き取る。アルコール等の有機溶剤は使用しない。

〔本体内部〕：

本体内部に残った水は捨てる。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社リコテクノ

TEL：03-5577-6133（代）

<製造業者>

株式会社デザイン

TEL：03-6264-5881（代）

取扱説明書を熟読すること。